

臨床検査専門科目	形態検査学					
		1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	病理組織検査学 Histopathology					
担当教員	戸田好信 阿比留仁					
目的	病理組織検査は患者の病変部から採取された組織を光学顕微鏡で病理組織学的に検査する診断法である。病理組織検査学では病理組織標本作製の重要性について知り、病理検査や生命科学研究を進める際に必要な病理組織標本作製法、電子顕微鏡標本作製法の意義・原理・技術および分子病理学的検査法を理解できるようになることを目的とする。					
目標	1) 病理組織標本作製において、標本切り出しから始まり、固定、包埋、薄切までの流れと方法について、説明することができる。 2) 各種染色法、免疫組織化学法、インサイツ・ハイブリダイゼーション法、電子顕微鏡試料作製法について、説明することができる。 3) 手術材料の組織切除範囲の決め方、迅速凍結標本作製法について、説明することができる。 4) 病理解剖の意義とやり方について、解釈することができる。 5) 病理組織標本や報告書の管理、精度管理の方法について、説明することができる。					
他科目との関連	病理組織検査学（実習）、病理組織検査学（鏡検）					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	期末試験の成績				0.9
	レポート	課題レポート成績				0.1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	「病理検査のすべて」文光堂					
参考資料	「組織病理アトラス 文光堂、病理組織染色ハンドブック」医学書院 「カラーアトラス病理組織組織の見方と鑑別診断」医歯薬出版 「最新カラー組織学」西村書店 「新染色法のすべて」医歯薬出版 「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」医歯薬出版					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						